
EARG 2020年度の 活動実績

<2021/8/28 改訂版>

1) 月例研究会

320 回 研究会	2020/10/18	環境監査研究会 代表幹事：後藤敏彦	「気候危機とafter/with コロナ の中でのサスティナビリティ経営」
321 回 研究会	2020/11/15	東北大学 環境科学研究科 環境科学政策論 教授：明日香 壽川	「グリーン・リカバリー」
322 回 研究会	2020/12/6	農業環境技術研究所 物質循環研究領域ユニット長：林 健太郎	「持続可能な窒素利用に向けて」
323 回 研究会	2021/1/17	NY Marketing Business Action, Inc.：古市 裕子	<新春海外レポート1.ニューヨーク>「そして バイデン 新政権へ」
324 回 研究会	2021/2/21	Nagata Global Partners 代表：永田 公彦	<新春海外レポート 2.パリ>「環境対応で国と企業に圧力をかけるフランス市民」 ~新聞記事ではわからないコロナ禍のフランスの空気感とその深層
325 回 研究会	2021/3/21	在ベルリン エネルギー問題研究者：西村 健佑	<新春海外レポート3.ベルリン>「エネルギーを自分ごと、地域ごとにするための 循環を意識したエネルギーの取り組みとは」
326 回 研究会	2021/4/18	IHOE（人と組織と地球のための国際研究所）代表：川北 秀人	「2030年代の東京にどう備えるか?」
327 回 研究会	2021/5/16	千葉大学法政経学部法政経学科教授：倉阪 秀史	「これからの社会」
328 回 研究会	2021/6/20	北海道大学 高等教育推進機構 高等教育研究部 准教授：三上 直之	「気候変動対応:ヨーロッパでの動きそして日本(さっぽろ)」
329 回 研究会	2021/7/18	持続可能な地域社会総合研究所 所長：藤山 浩	「日本はどこで間違えたのかーコロナ禍で噴出した「一極集中」の積弊」

1) 研究会 参加者 今回 リモートで研究会を行い、海外を含め多彩な講師をお願いし、集客にも勤めた、その結果 平均参加者は22名、昨年は14.8名なので大幅に増加した。

2) 会員対象「事務局だより」の発行、「社会・環境Topics」の発行

毎週 「事務局だより」を発行（NEWS、他団体イベント案内、定例研究会 案内（関連情報）
随時 「社会・環境 Topics」の発行

3) 会員外対象「社会 環境 関連情報」の発行

以前名刺交換した知人約 80名に毎月「社会・環境 関連情報」を発行し、情報発信と研究会の案内を行った。（その結果 毎回数名の外部の参加があった）

4) EARG NEWS 電子版の発行（研究会の資料と 参加者のコメントをEARG NEWS 電子版として発行、ホームページ更新ができない為 メールで送信）

2020年研究会は全て発信済み（今後Web化時により見やすくする）